

# 令和4年1月 学校長だより 高千穂高校

令和4年1月11日

「時間は、容赦なく過ぎていく。

なすべき仕事をみつけたら、それに没頭せよ。」

校長 佐伯 浩 美

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

「辛丑（かのと・うし）」の年から「壬寅（みずのえ・とら）」の年へバトンが渡された。壬寅は、厳しい冬を乗り越えて、新しい成長が始まる年といわれている。‘新しく立ち上がること’や‘生まれたものが成長する’などを表している。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる。本年が、実り多き年となることを心から強く願っている。

さて、最近冬休みは、駅伝競争をテレビで見るのが恒例になった。師走の京都を走り抜ける高校駅伝に始まり、実業団日本一を決めるニューイヤ駅伝、箱根の山を駆け登り、駆け下る大学駅伝と続く。3学期早々開催の県市町村対抗駅伝は、西臼杵三町の活躍を新聞で見る。

高校駅伝の中継点では、45番（宮崎県代表高校番号）のゼッケンを探す。見逃しても即座に順位と時間差が表示される。正月は、2位以下では喜べない旭化成を応援する。箱根駅伝は、走者の画面下に出身高校と学年が記される。宮崎出身のランナーに目が止まる。実況放送と同時にAI（人工知能）で多くの情報が伝わり、走っている選手の頑張りの根源は、なんなのか想像しながら観戦する。

新入部員の加入で、チーム力が大きく変わる。練習をコツコツと積み重ね、上級生になっても選手になれるわけではない。記録が伸びても、優秀な部員が入ってくれば、選手に名を連ねることはできない。選手になるには、毎日の過酷な練習だけではなく、練習以外にもやるべきことが多々あり、運もあるだろう。選手から外れた上級生のことを考えながら、1年生選手の壮快な走りを見た。

「悔しさ」や「辛さ」を経験した人には、「思いやり」や「優しさ」が育つ。競技力が他の部員よりやや足りなかっただけである。当然体力は、誰にも負けない。心も経験豊かである。「忍耐力」「判断力」「行動力」「主体性」「協調性」「思考力」等、競技に没頭して身についたものが多くあるはずだ。高校生の時、競技での活躍はなかったが、今社会で光り輝き充実した生活をしている人を数多く知っている。なすべき事を見つけ没頭することは、決して無駄ではない。

1月4日高千穂町、7日日之影町の新春交歓会に出席した。人口減少・コロナ禍で厳しい経済状況の中、宮崎県の出先機関、郡や町の各種協会・組合、企業等の代表者が一堂に会し、西臼杵・各町の発展のための方向性や連携の話しを聞いた。本校が他に例のない特色のある学校になるためのアイデアや物心両面からの支援の声を多くの方からいただいた。経済界からも大きな期待を担っている。

1月5日、高千穂町消防団員の行進に引き続き、サイレンを鳴らし通過する49台の消防車輛のパレードは見応えがあった。出初め式では、各分団の規律ある一糸乱れぬ機敏で敏速な行動は素晴らしかった。私が、かつて体育の授業で指導した集団行動よりも、何倍も的確に素早く動く教え子達の姿に感動した。団員の皆様のお陰で、安心して安全な暮らしをすることができている。日頃の取り組みに感謝を申し上げたい。また、各種消防表彰が行われ、何度も表彰される本校保護者もいらっしやった。